

[参考事項]

新技術名： 平鹿地域におけるリンゴのナミハダニの
バロックフロアブル感受性低下（平成11～12年）

研究機関名：果樹試験場環境部

担 当 者：本郷公子・舟山健・大隈専一

[要約]

1999年に平鹿地域のリンゴ園において、ナミハダニのバロックフロアブルに対する急激な感受性の低下が確認された。2000年に平鹿地域から採集したナミハダニ個体群のほとんどは、本剤の常用濃度における死卵率が低く、広域で感受性の低下が確認された。

[ねらい]

県南部のリンゴ園におけるナミハダニのバロックフロアブルに対する感受性を検定し、ハダニ類の防除の参考にする。

[技術の内容・特徴]

- 1．1999年、平鹿町ナミハダニ個体群のバロックフロアブルに対する感受性を検定した結果、殺ダニ剤散布前後でLC50値は3.13ppmから100ppm以上に急激に上昇し、本剤に対する著しい感受性低下が確認された。
- 2．2000年に平鹿地域内17カ所のリンゴ園から採集したナミハダニ個体群のバロックフロアブル2000倍に対する感受性を検定した結果、ほとんどの園地で死卵率が著しく低かった。同年に採集園では本剤を使用していなかったが、感受性は回復しておらず、防除効果は期待できないと思われた。

[普及対象範囲]

県内リンゴ栽培地域

[普及・参考上の留意事項]

使用回数が少なくても、感受性が低下している可能性が高い。特に、県南地域では感受性の回復が認められず、広域で感受性が低下している可能性が高いので、県内のリンゴ園ではナミハダニの防除剤として本剤を使用しない。

[具体的なデータ等]

表1 平鹿町金麓産ナミハダニのバロックフロアブルに対する感受性(1999年)

希釈 倍数	成分濃度 (ppm)	供試卵数		未ふ化卵数		補正死卵率(%)	
		7/6 ¹⁾	7/26 ²⁾	7/6	7/26	7/6	7/26
1000	100	177	85	177	2	100	2.4
2000	50	148	167	147	10	99.3	6.0
4000	25	163	151	156	11	95.7	7.3
8000	12.5	131	154	122	16	93.1	10.4
16000	6.3	98	215	74	12	75.5	5.6
32000	3.1	108	123	103	13	95.4	10.6
無処理		87	103	5	3	5.7	2.9
成分濃度のLC50値(ppm)						3.13>	100<

1) バロックフロアブル散布前

2) バロックフロアブル散布後

表2 平鹿地域産ナミハダニのバロックフロアブルに対する感受性(2000年)

採集園地	採集月日	補正死卵率(%)	採集園地	採集月日	補正死卵率(%)
横手市城野岡	6/19	56.4	平鹿町馬鞍	5/10	0
" 檜沢	5/10	1.4	" 馬鞍	5/10	10.1
" 猪岡	6/19	1.4	" 馬鞍	6/1	0.7
" 中里	6/15	1.4	" 開畑	6/19	1.0
平鹿町醍醐	6/10	21.3	" 萩の目	6/15	0
" 三島	6/10	0.8	" 樋の口	6/19	80.3
" 金麓	5/10	0	増田町下夕町	6/1	0.5
" 中山	6/19	14.0	十文字町梨の木	8/3	6.0
" 朴田	6/19	5.0			

注) 検定濃度は常用濃度(2000倍)

[発表文献等]

北日本病害虫研究報 第51号